

2025年9月19日

湘南国際村めぐりの森 育樹作業記録&報告

(株) 研 進 出縄貴史

掲題育樹作業については、夏季（8月）は休みとし、本日（9/19）より再開しました。主な作業内容を下記します。

また、夏季の猛暑及び降雨不足の影響と思われる苗木の枯れ・脱落が散見されます。本日の育樹作業に際し、周辺の模様も確認して参りましたので併せ報告致します。

特に、これまでと異なるのは、植樹後数年が経過した場所で樹高1~2m以上に生長している樹木の枯れ・脱落が見られるのは驚きでありショックでもあります。この夏の異常気象（猛暑と水不足／約3週間降雨無し）によるものと推察致します。

記

1. 日時：2025年9月19日（金）10：00～12：00（湘南の風えいむは、10:30開始）
2. 場所：湘南国際村めぐりの森植樹地 C地区& C-特区／Preset Tree（A地区北）
3. 参加者：横須賀ヘーメット6名、湘南の風えいむ4名、研進2名、合計12名
4. 作業：除草



C地区（モッチの樹P）補植場所（本年6月末に補植）

左：作業前／右：作業後

本年8/7に水やり（水タンク2本）を行ったが、約10本（1割）が葉が茶色に変色している。根が生きている可能性があるので温存し来春の発芽状況を確認する。



C地区（モッチの樹P：左側）とC特区（右側）の間の通路も除草し整備を行った。



C地区（モッチの樹P）の北側で、かなり樹高を伸ばした樹木が枯れているが、このようなことは初めての経験である。



C 特区（2022 年秋植樹）においても、少数ながら一定程度生長した苗木の枯れが散見される。



宮脇先生追悼植樹地
（2021 年 11 月）

これまで順調に生長していた苗木の脱落が一部に認められる。



左：本年 5 月植樹祭での植樹地北側の斜面で陽射しは強くないので猛暑の影響はさほど受けない？と予想していたが、葉が茶色に変色している苗木がかなり見られる。

C 地区の斜面の良好な生長振りとは様子が異なる。



Present Tree 植樹地（本年 4 月～6 月植樹）

本日、育樹（除草）作業を実施した。

ここは、陽射しが強く猛暑の影響を心配したが、活着率は良好で、脱落苗は、ごく少数に止まっている。

苗木の状態も良く、順調に生長している。

一定の客土を入れた地盤造成及び稲わらの

マルチングが地面の温度上昇や乾燥を防ぎ

猛暑・水不足にも耐えたものと思われる。

雑草は、オオブタクサ、カヤ、ヨモギ、セイタ

カアワダチソウ等が生えているが、定期的な

育樹（除草）を行い保全して行く。



本日参加した「どんぐりブラザーズ」メンバー
皆さん、ご苦労様でした！

以上